

令和 7 年 7 月 2 日
航空局大都市圏空港計画室

羽田空港における共同溝の強靱化に係る検討を開始します

～第 1 回検討委員会の開催～

空港施設の機能確保に不可欠なライフラインが収容されている羽田空港の共同溝の強靱化に向けて検討するため、「羽田空港における共同溝の強靱化検討委員会」を立ち上げ、共同溝の強靱化に係る課題、調査、対策工法等について議論を開始します。

羽田空港では、空港のライフラインを効率的に管理するために共同溝が配置されており、電力・通信等のケーブルや、ガス・上下水・地域冷暖房等の管路といった空港施設の機能確保に不可欠なライフラインが収容されています。

羽田空港の共同溝は、古い箇所では竣工から 35 年以上経過しており、老朽化や不同沈下が進行している状況です。また、共同溝の耐震性能は、整備時点の基準に基づいているため、現行基準に対して耐震性能が十分確保できていないことも確認されています。

そこで、羽田空港の安定的な機能確保に向けて、「羽田空港における共同溝の強靱化検討委員会」を立ち上げ、共同溝の強靱化に係る課題、調査、対策工法等について技術的・専門的な観点から議論いただきます。

記

1. 日時：令和 7 年 7 月 4 日（金）14:15～16:00
2. 場所：東京航空局 東京空港事務所 2 階 A 会議室
（東京都大田区羽田空港 3-3-1）
3. 委員：別紙のとおり
4. 議題：（1）検討委員会の概要
（2）共同溝の現状と課題
（3）共同溝の強靱化に向けた検討方針

5. 取材等：

会議は非公開ですが、会議の冒頭のみ（挨拶まで）カメラ撮りは可能です。希望される場合は、7 月 3 日（木）12 時までに下記フォームよりお申込みください。

申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/j5W5MV4P7T>

会議資料及び議事要旨については、後日、国土交通省のホームページにて公開予定です。

【お問い合わせ先】

航空局航空ネットワーク部空港計画課大都市圏空港計画室 鈴木、武田
代表 03-5253-8111（内線 49231、49242） 直通 03-5253-8719

羽田空港における共同溝の強靱化対策検討委員会

委 員 名 簿

(敬称略、五十音順)

◎ 委 員 長

(学識経験者)

末政 直晃 東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 教授

◎福手 勤 東洋大学 名誉教授

渡部 要一 北海道大学 大学院工学研究院 土木工学部門 教授

(研究機関)

国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港新技術研究官

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
地震防災研究領域 耐震構造研究グループ グループ長